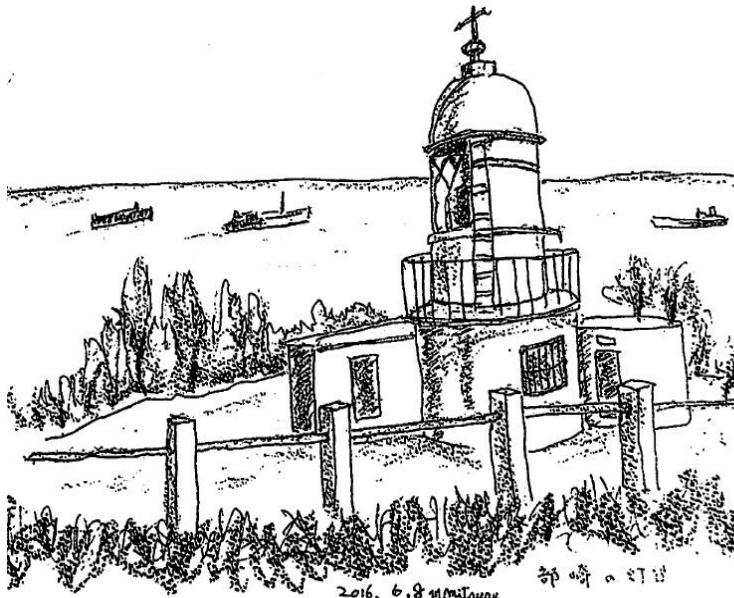


週報2020年12月13日



2020年教会標語聖句

キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。

コロサイ人への手紙 3章 15節

シオン教会信仰指標：“成熟したキリスト者を目指して”

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX…4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2020年12月13日

オルガン：力丸勝子 師 ピアノ：赤松真佐子 姉

前 奏

開会の祈り 司会者 石田紘一郎 兄

信仰告白 使徒信条・標語聖句唱和

賛 美 新聖歌 67「わが心は」

賛 美 新聖歌 221「ああ主の瞳」

\* 今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！ \*

献身の祈り 小松瑞枝 姉

賛 美 コーラス 14「主は御座におられる」

聖書朗読 ルカによる福音書1章26-38節

メッセージ 「おめでとう、恵まれた方」 山崎銀次郎 牧師

祈 り

頌 栄 「主の祈り」

祝福と派遣の祈り

後 奏

**交わりの三省**

**\* 互いに愛し合っていますか**

**\* 互いに赦し合っていますか**

**\* 互いに祈りあってますか**

# 説教要約

ルカによる福音書1章 26-38節

「おめでとう、恵まれた方」

## ①主から来る喜びを求める

祭司ザカリヤと乙女マリヤの話は幾つか共通点があります。その一つは天使の一方的な告知知らせです。しかし双方の対応は違いました。恐怖のあまり、頑なになってしまったザカリヤ（彼も神の計画が進み続ける事によって、理解して行った）、そして戸惑いながらも言葉の意味を見出そうとしたマリヤ。マリヤが理解していった事は“天使による喜びの告知知らせ”です。

天使が冒頭でマリヤに告げた「おめでとう」という言葉は言語では「ごきげんよう」という挨拶言葉です。そしてこの言葉には「喜びなさい」という意味も含まれています。つまりマリヤはこの冒頭での挨拶の意味を天使の告知知らせを聞いて行く中で、深く理解していったのです。マリヤが理解した事は「私は恵まれた女であり、その恵みとは主が共におられる」です。

私達が神の恵みを妨げる（実際は妨げられる事はない）大きな理由として“疑い”が挙げられます。もし私達の心の内にある“疑い”が残ったままだと、神の恵みを恵みとして正しく理解出来ません。今日あえて“理解する”という言葉を選びましたが、大切な事は神の恵みをそのまま受け入れる事が大切です。神の一方的な恵みに勝る喜びはありません。神の恵を正しく理解する秘訣は“私達にいつも喜びをもたらす神の御心を追い求めていく事”です。

## ②聖霊によって覆われる人生

ルカは聖霊という言葉を多用しています。有名な箇所、使徒行伝1章8節等もそうです。そしてこの箇所です。使徒行伝1章24-26節の“覆われる”と今日の箇所ルカ1章35節の“覆われる”も同じ言語です。男を知らない乙女が身籠るという到底信じられない事を受け入れる事が出来たのは、“聖霊が覆われる”という事をマリヤが信じたからです。

マリヤはこの聖霊が“いと高き方の力をもって、自らを覆う”という事を信じます。つまりマリヤは自分の力量や身分ではなく、神の力によ

ってこの計画が進んで行くという事を受け入れました。神の計画とは、聖霊によって人類の罪が覆われ、そして“聖さ”に与り、全ての人類が永遠の救いを手にする事です。

聖書の“聖さ”とは神に聖別されるという事です。端的に神のものにされるということです。聖書は「この方による以外に救いは無い」そして「神にとって不可能なことは一つもありません。」と書いています。この方法でしか人類は救いを得る事が出来なかったのです。今私達が期待する力とは何でしょうか？あるいは覆ってしまいたい恥や失敗があるでしょうか？全ての人に今臨まれる聖霊の力を求めて神の愛を体験して行きましょう。

## ③人を従順に導く神の言葉

マリヤは天使の告知知らせを全部聞いた後、「私は主のはしためです」と言いました。聖書において、神様と自分の関係性を現すために、奴隷と主人の関係を比喻として用います。出エジプトを果たしたイスラエルの民は贖いの主に服従し、神と契約関係を結びました。マリヤは神に対する服従を「自分が主のはしためである」と告白する事で示しています。

それは「あなたのおことばどおりこの身になりますように」という一言にも集約されています。マリヤはこの時、自らに起こるであろう苦難や恥も受け入れた上で御言葉に従う決心をしました。それは自分にとっての一番の喜びは主に仕える事だからです。マリヤから生まれたイエス様も又、「御心が成りますように」と十字架の道を歩まれました、苦難の中、神に従い通したイエス様の従順によって、人々は新しい神との契約関係に入る事が出来るのです。

私達の人生は神に仕える事を学ぶ人生です。時にこの世の理不尽や先行きが見えな状況に晒されますが、私達が人生の中で負った痛みや恥はイエス様が身代わりに背負って下さいました。私達がイエス様のために生きる中で傷ついた名誉や尊厳は主の名によって回復して行きます。私達はイエス様の御名によって神のものとされたのです。ですから、主の計画に従う時、主の喜びで覆われて行きます。そしてその喜びが全ての人の希望になっていきます。共に主を見上げ、前進してまいりましょう。